

# 湯河原ロータリークラブ

## WEEKLY REPORT



### ロータリー： 変化をもたらす

第 2711回 例会  
平成30年3月9日(金)  
天候 曇り  
合唱 それでこそロータリー

会長 石倉 幸久

幹事 渡辺 久恭

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566湯河原温泉観光協会内

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

### 会長挨拶

岐阜県の飛騨古川にある「美ら地球」という会社が、2009年から「飛騨里山サイクリング」という自転車ツアーを実施しておりまして、訪日外国人旅行者の間で好評を博しております。

「飛騨里山サイクリング」は、元々観光地として決して有名とは言えなかった飛騨古川の古い街並みを起点として、周辺の農村部を自転車でゆっくりと巡るというものでございます。

住民からすると、「何もない」地域であるものの、一面の田んぼが広がる田園風景や冬場の雪景色といった、日本の田舎ではごく当たり前に見られる光景こそが、外国人からすると大変新鮮に映るようで、ツアー参加者の99%が「満足」と回答されています。当社代表の山田拓さんは、元々都心の大企業で働かれていた移住者です。

彼が「ヨソモノ」の目で飛騨古川の風景や暮らしを見て、そこに魅力を見出したことが、「飛騨里山サイクリング」ツアーの成功の源と言えるでしょう。ここ湯河原でも、町外から移住されてきた方や、外部から様々な提案をされる方がいらっしゃいます。インバウンド誘致に限りませんが、そうした方々の「ヨソモノ」としての声にしっかりと耳を傾けることが、湯河原のまちづくりに繋がっていくのではないのでしょうか。

### 幹事報告

ガバナーより

- 2016-17年度財団寄付クラブ表彰の件  
2016-17年度の寄付に関して感謝状とバナーが届いております。4月8日の地区協議会にて表彰致しますので、3月20日までに表彰式で登壇される方をご連絡下さい。

連絡事項 無し

### スマイルBOX

- 会員誕生日 神谷一博君 (3/14)  
会員誕生日 平間章弘君 (3/15)  
結婚記念日 石川 博君 (3/12)  
入会記念日 小倉高代君 (3年・H27. 1. 16)  
東日本大震災の復興を祈願して全員でスマイル



スマイルBOX伊場野会員

事前メイクアップ 2名

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員24名
	欠席5(免除者1名)		前回の修正出席率82.61%
	出席率82.61%		前々回の修正出席率95.83%

真鶴町の産業の歴史

土屋一弘君

真鶴町の産業は古来よりの石材と漁業です。石材業は平安時代の末期京都より来た人が始まりです。その人の名前は土屋格衛と言う人です。わたしも土屋ですが関係があるかどうかわかりませんが、当時は裏山にある小松山より掘り出しましたので石材の名前は小松石と言います。

その小松石は、東の小松・西のアジ石（高松）と、日本の名石の一つに数えられています。

小松石は、箱根の溶岩が浅い所で冷えて固まった石で安山岩です。アジ石は深い所で出来た花崗岩で御影石です。昔は石を墓石や間知石（30cm角の石）あるいは仏像、敷石に加工していました。間知石は6個並べると一間と測れるのでそう呼ばれました。

最近石材業は少なくなりました。値段が高い事もあると思いますが、中国などの外国産の安い物が出まわっているからです。しかし地元の人達は小松石に拘っていますから真鶴や湯河原の寺の墓は小松石が多いのです。バブルの頃にはお墓も沢山作られました。他にも江戸時代後期から東京湾のお台場をつくったり、東京の都電の敷石に使われたりしてその後も石材業は大変繁盛しました。

漁業は石材業より古くから発達しました。江戸時代の後期に和歌山県から田広さんと言う人がボラ網を広めたそうです。恐らくボラの卵巣を目的に漁を行い、カラスミを作ったのでは無いでしょうか。戦前より戦後は鰯の大漁で街は沸き返り毎日のように1万匹から3万匹もとれたため食卓には鰯ばかりが上りました。その鰯も最近ではほとんど網に入りません。先日近所の魚屋に鰯が上がったというので買って食べてみましたがあまり美味しくはありませんでした。この時期になると本来取れるものではありませんので仕方ないです。また鰯の大漁があれば良いなあと思っています。



卓話 土屋会員



出席報告 浅田会員



会員誕生日 神谷会員



会員誕生日 平間会員